令和４年度第６回卒業証書授与式　学校長　式辞

福井県立高志中学校 第６回「卒業証書授与式」に当たり、ＰＴＡ会長、井上博之様、中学校委員長景山直恵様をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業生の皆さんを祝福できますことは、この上ない喜びであります。高志中学校・高志高等学校の教職員を代表いたしまして、高い所からではございますが、ご臨席の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

ただ今、９０名の皆さんに、卒業証書を授与いたしました。保護者の皆様には、お子様が卒業の日を迎えられ、さぞ、お喜びのことと存じます。教職員を代表し、心からお祝い申し上げますとともに、これまで、本校にお寄せいただきました、ご理解とご協力に対し、深く感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

高志中学校は中高一貫校ですが、なぜ、中高一貫校において卒業式を行うのか、その意義を考えながら、式辞を聞いていただきたいと思います。

３年前の令和２年４月、皆さんは、自らの意志でこの高志中学校を選び入学しましたが、新型コロナウィルス感染症拡大によって休校期間が６月まで延長されたことで、入学式を執り行うことが出来ませんでした。思い起こせば、これ以降、中学３年生の今まで、皆さんは新型コロナウィルス感染症拡大によって、学校での教育活動や行事が様々な制約にあいながらも、自分たちにできることは何かを考え、試み、実現してきた３年間だったと思います。

入学から これまでを 振り返ってみますと

１年生、コロナ感染症拡大１年目の厳しい状況の中で実施出来た一泊の嶺南宿泊研修。この時期に実施できた運の強さは、「何かを持っている学年」と、団長として参加した自分も感じました。

２年生、まだまだコロナ禍の制約が続く中での５月研修。まちづくりに取り組む方々から熱いハートとエネルギーをもらい、教員の予想を超える高いクオリティーの報告書を創り上げました。福井県知事や小浜市長の手元にも届き、大好評でした。

３年生、３年ぶりに実現できた東京研修。校長室で実行委員が５回も６回もプレゼンを行い、学びを深めた姿勢も、研修４日間での皆さんの成長も、目を見張るものがありました。自分たちの研究テーマに沿ったコース別研修を中心に、東京の大学生である卒業生と語る会、若き起業家との語り合い。誰もが生き生きしていて、高校での学びに繋げる意気込みが感じられました。

この他にも、それぞれ個人で、「やりたいこと」「こうなりたいこと」に対して、コロナ禍の状況が許す中で、チャレンジし、やり遂げたことも数多くあったことを見てきました。

このように、コロナ禍にも怯まず果敢に挑み続け、高志中のいろいろな新しい活動を創り上げ、今後の新しい活動の芽を育てたということから、まさに、皆さんの３年間を言葉で表すと「挑戦」、そして、校訓にもある「創造」の二つが当てはまると思います。

そこで、皆さんがこれまで立ち向かってきた状況から、過去の似たような状況に鑑み、照らし合わせると、ある人物を思い出さずにはいられません。その人物は、緒方洪庵です。

ご存じの人も多くいると思いますが、彼は、江戸の幕末の時代に猛威を振るった疫病に、医者として敢然と立ち向かい（＝「挑戦」)、その一方で教育者としても有望な人材を数多く育てた（＝「創造」）そういう人物だからです。

彼が医者として活躍した幕末は、天然痘があり、その後、コレラが爆発的に広がった時期でした。コレラ治療に取り組む医者は、ひどい時には三人に一人が死んだとされ、その中でも彼は「事に望んで心の卑しい人になるなかれ」と言って、多くのコレラ患者の治療に臨んだとされます。

また、大坂に「適塾」という蘭学の私塾を開き、自らが医学を学ぶだけでなく、西洋の医学や語学、しいては、考え等を多くの弟子たちに教え、幕末から明治維新にかけて活躍した福井の橋本佐内をはじめ、福沢諭吉・大村益次郎・大鳥圭介、など多数の人材を育成しました。

そして、このような緒方洪庵に似た資質は、「挑戦」「創造」に表せる活動を行ってきた皆さんにも、その素地が備わっているはずです。

さて、４月から高志高校では、皆さんの学年から高志中学校から進学する皆さんと、高校から入学してくる新しい友人が一つのクラスとなる時代が始まります。つまり、高志高校の一つの新しいスタートを皆さんが切るのです。コロナ禍の中で様々な分野に挑戦し続け、新しい学校生活・教育活動などを創り上げてきた皆さんたちです。きっと高志高校の新しい時代を創ってくれると信じております。

さらに、卒業生の皆さん。高志の中高一貫教育の理念の一つは「一人ひとりの夢の実現」です。どんな夢でも夢に優劣はありません。今まで皆さんが実践してきた「挑戦」と「創造」の言葉を胸に、それぞれの夢の実現に向かって、高志高校で大きな飛躍への第一歩を踏み出してください。

最後になりましたが、卒業生の皆さん、中学１年、２年生の皆さん、保護者の皆様、そして、中学校・高校の先生方、これからも高志中学校・高志高校が挑戦し続け、創造を生み出せる学校として進んで行くことを願い、式辞といたします。

令和５年３月２２日

福井県立高志中学校長　濵田 敏功